「国土交通省北海道開発局・PAPAIOS共催 地域連携セミナー データで読み解く北海道経済ワークショップ」の開催結果

国土交通省 北海道開発局

共に北海道の未来を**制**る **入** 第日期北海道総合開発計画

概要

北海道経済や地域づくりに関心のある北海道内の大学生を対象に、経済 分析スキルを身につける機会を提供し、北海道の未来を担う人材の育成を 目的として、この度初めて、環太平洋産業連関分析学会(PAPAIOS)と 共催で地域連携セミナーを開催しました。

詳細

時:令和7年10月4日(土)11:00~16:00

所:エア・ウォーターの森 1階 イベントホール

催:環太平洋産業連関分析学会(PAPAIOS)

援:北海道

参加人数:19名



プログラム

開会挨拶

環太平洋産業連関分析学会 会長 石川 良文氏

産業連関分析は、ノーベル経済学賞を受賞している 歴史ある手法であり、経済構造や波及効果分析ができ ます。産業連関分析を今回実際に手を動かして体験す ることで、今後、分析ができる社会人へ成長されるこ とを願う思いを語られました。



石川会長

第1部 産業連関表に関する講演



「産業連関表から読み解く北海道経済」 北海道開発局 開発監理部 開発計画課 髙橋 美穂

白衣の天使で知られているナイチンゲールが、 実は統計学者でもあったという事例を用いながら 統計の重要性について説明した後、産業連関表の見方や、全国と比較 した北海道の産業構造について紹介しました。



入江教授

▶「経済波及効果はどう測るのか ~産業連関表の活用事例紹介~| 近畿大学 短期大学部 教授 入江 啓彰氏

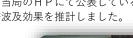
経済波及効果の推計方法をはじめ、産業連関表の 活用事例として、今年開催された大阪・関西万博や 過去にプロ野球チームがリーグ優勝した際の経済 波及効果についてご説明いただきました。

第2部 「Fビレッジがもたらす北海道への経済波及効果推計 |

◇ 班別検討 | 令和 7 年度のFビレッジの経済波及効果推計

人々の経済行動がどれほどの経済効果を生むのか、産業 のどの部門にお金が落ちるのかなど、北海道ボールパーク Fビレッジを事例に、実際に経済波及効果を推計する体験を してもらいました。前提条件となる観光客数や消費単価を

班別に検討・推計し、最終需要額を推計後、当局のHPにて公表している 「経済波及効果分析ツール」を使用して経済波及効果を推計しました。



◇ 発表

設定する前提条件の差によって、各班ならでは の視点が結果に表れていました。ある班からは中 長期的効果とリスクとして、今後の持続的な波及 や投資回収問題等の指摘もありました。



~ 各班の推計結果 ~

グループ	生産誘発額(億円)	粗付加価値誘発額 (億円)	新規就業誘発 (人/年)
A班	1,851	1,010	19,654
B班	1,737	947	18,669
C班	1,806	975	19,097
D班	1,916	1,032	20,544

※この結果は、あくまでも学生によるワークショップでの試算です。

なんと・・・

生産誘発額に約200億円の差が生じました!



野球以外のイベ ントや商業施設の 拡充により、普段 使いを促進し、地 域住民の来場を促 すことが重要であ るという意見もで

ました。

「国土交通省北海道開発局・PAPAIOS共催 地域連携セミナー データで読み解く北海道経済ワークショップ」の開催結果



第日期北海道総合開発計画

◇講評

近畿大学 教授 入江 啓彰氏 / 札幌大学 教授 武者 加苗氏

入江教授からは、最終需要の想定値設定により、各班の **結果にバラツキが生じた**ことに触れながら、経済波及効果を



表やグラフに

見える化!

高めるには、人数の増加や消費単価を上げることが考えられるものの、需要と供給の バランスを考慮する重要性も語られました。

武者教授からは、同じツールを使用しても、前提条件を変えることによる結果の変化 に、**分析の面白さ**を学生が理解できたのではないかと述べられました。また、「値上げ が悪い | 、「経済波及効果は大きい方がよい | といった曖昧な考えではなく、推計デー **タに基づいた**政策提言や事業計画を提案することの重要性を語られました。

閉会挨拶

北海道開発局 開発監理部 開発計画課長 松永 明博

今回、産業連関表というツールを通して、現実 の産業構造の中でどのような動きが生じるのかを 体験的に理解できる機会となり、今後の経済ニュ ースを読み解く新たな視点、将来のキャリアを考 える上で活用いただけることを期待すると締め括 りました。



松永課長

ご参加いただいた学生の皆さま、 関係者の皆さまありがとうございました。

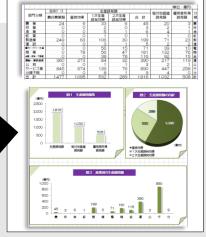
< 経済波及効果分析ツールのご紹介 >

STEP3: 最終需要額をツールに入力

STEP1:最終需要額を産出 例:観光客数×消費単価

STEP2:産業連関表の部門に分ける(コンバート)





当局HP: https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/keikaku/splaat000001yrb0.html

アンケート結果(抄) 計19名

〇 今回参加されて、友人・知人等に勧めたいと思いましたか。

やや思わなかった。 どちらとも言えない 思わなかった 思った やや思った 53%

- ・他校の学生とのふれあいや経済 のことを学べる貴重な体験であ
- ったため。 ・短時間でここまでの知識や経験 を得られる機会はあまりないと
- 感じたため。 ・今後の人生に役立ちそう。
- 実際に推計したことで新たな発 見があったため。等

今回参加された全員が

今後の学習や研究に役立つと回答

参加者のワークショップ全般の感想

- ・データにすると、感覚では分からないことが見えてくると思った。
- ・普段の大学の講義では学ぶことのない「産業連関表」について 学ぶことができ、有意義な時間だった。